

## 廃止の事由及び時期並びに学生の処置方法を記載した書類

### ① 廃止する大学等の概要

- ・ 廃止する大学等  
大谷大学短期大学部 仏教科
- ・ 入学定員及び収容定員  
入学定員 20名、 収容定員 40名
- ・ 当該大学の所在地  
京都府京都市北区小山上総町 20 番地
- ・ 学生募集停止の時期  
平成 30 年 4 月

### ② 廃止の事由

2009（平成 21）年度、2013（平成 25）年度と 2 度の入学定員適正化（削減）を行い、募集広報の強化にも努めてきたが、入学定員を充足ができない状態が継続していた。こうした状況をふまえ、2018（平成 30）年度より併設大学を文学部、社会学部、教育学部の 3 学部体制へと教育組織を刷新するにあたり、仏教科については、その教育実践・成果を発展的に文学部へと統合し、2018（平成 30）年 4 月に学生募集を停止した。

その後、大谷大学短期大学部仏教科について、全学生が卒業し、2019 年 4 月 1 日以降在籍する者がいないため廃止する。

【仏教科の過去 4 カ年の志願者・入学者数】

	志願者数	入学者数
2014（平成 26）	12	10
2015（平成 27）	16	11
2016（平成 28）	14	9
2017（平成 29）	15	7

### ③ 学生の処遇

2019（平成 31）年 4 月 1 日以降に在籍する学生は存在しないため、廃止に伴う特別な対応は不要である。卒業生については、これまでと同様のサービス・支援が行われるよう取り扱う。卒業生としての活動の基盤となる同窓会活動については、これまでも「大谷大学同窓会」のもと、大学、短期大学の卒業生が所属し交流を持ってきた。今回の廃止後も、変更することなく、仏教科卒業生が円滑に活動できるよう取り組みを進めていく。なお、学籍や証明書等の取り扱いについては、⑥で説明する。

### ④ 教職員の処置

教員組織については、最後の学生が卒業した 2019（平成 31）年 3 月末をもって、仏教科所属教員は、一部教員を残し、すべて併設の大谷大学に移籍した。なお、短期大学幼児教育保育科の共通教育を担当する等の理由により 2 名の教員が残っているが、幼児教育保育科の廃止後に、大谷大学に移籍する予定である。

また、事務職員については、すべて併設の大谷大学に移籍した。

### ⑤ 施設の処置

施設・設備については、引き続き大谷大学短期大学部（幼児教育保育科）が使用する予定であり、大学全体の施設・設備の変更はない。

### ⑥ 学籍関係書類の保存方法

併設する大谷大学の事務局において保存し、これまでと同様に証明書の発行等に対応する。

### ⑦ 廃止の時期

文部科学大臣に届出を行った日。

以上